

つ け ま る

ときわ
交配

漬丸くん

まったく新しいタイプのきゅうりです。一見、漬け瓜(白ウリ)の様に見えますが、キュウリ独特のシャキッとした歯触りと、軟らかな肉質をあわせ持っています。このため漬物用とくに浅漬け用として最適ですが、更には従来のキュウリ同様生食としてもおいしいキュウリです。



適作型

普通～抑制露地栽培。
仕立て・地這い栽培どちらでも栽培できます。

果実

果長12cm、太さ3.5cmで重さ100g程度。肩張り良く、円筒形で、イボが低い。果色は淡～黄緑色でかすり多く発生する。また、大きめに収穫することで、奈良漬けや鉄砲漬等にも適する。

草姿

主枝雌花着果率は20～30%、1～2果成り。子枝1節目には着果し、飛び成り性となる。葉は丸葉で大きく、枝は太く適度に発生する。

“作る”を感動に変える、おいしさを届けて60年。



株式
会社

ときわ研究場

本社 〒355-0167 埼玉県比企郡吉見町田甲1087

TEL.0493-54-1155 FAX.0493-54-1332

□ 東北営業所 岩手県北上市 TEL.0197-68-2840 □ 中部営業所 長野県上田市武石 TEL.0268-85-3560
□ 福島営業所 福島県須賀川市 TEL.0248-75-1594 □ 宮崎営業所 宮崎県宮崎市佐土原町 TEL.0985-73-3437

URL <http://tokiwa-cucumber.com/>

栽培のポイント

- 栽培は、自根でも接木栽培でもできます。本来のキュウリの香り・食感を楽しめるのは自根での栽培ですが、立ち枯れ病の予防対策として接木栽培が有効です。
- 気温・地温が十分に暖かい時期は、直播きでも良いですが、通常の栽培時期では育苗を行ったほうがその後の生育が良い。
- 元肥は10a当り、N:P:K = 20kg:25kg:20kg程度を目安とする。
- 定植後直ちに株元灌水をおこない、早い活着を目指す。
- 主枝1本立てを基本とし、株間60cm程度とする。
- 主枝7節程度までの子枝及び雌花は早いうちに摘除する。
- アーチ栽培での場合、主枝の摘芯はアーチ肩部でおこない、主枝下段から発生する子枝は1節止めとする。
- 中段の子枝は成り花(♀花)止めを行い、上位節は1節止めとする。アーチ上部・下部の風通しを良くし、病気の発生を予防する。
- 基本的には子枝はすべて摘芯し、孫枝以降の枝を株あたり3~4本ほど放任し、以降枝の発生状況を確認しながら枝の更新を行うと良い。
- 圃場・天候等の状況により、草勢が思わしくない場合は、力のある子枝を残すと良い。
- 果実を大きめに収穫する場合、着果負担が大きくなるので草勢の維持のため、早めの枝確保や追肥を行う。